

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和8年4月分：速報)

<対世界>

○輸出総額:1兆1,243億円(伸率:+9.6%) ⇒ 2か月ぶりのプラス

・順位:5位、4月としては1位

【順位は、昭和54(1979)年1月以降(568か月、4月は48か月)による。以下同じ。】

・増加品目:半導体等製造装置(同+35.2%)、船舶(同+29.6%)

○輸入総額:7,295億円(伸率:▲14.1%) ⇒ 2か月連続のマイナス

・順位:73位、4月としては7位

・減少品目:原粗油(同▲99.1%)、石油製品(同▲47.2%)

○差引額:3,948億円(伸率:2.2倍) ⇒ 15か月連続の輸出超過

・順位:1位

為替レート:2026年4月:159.27円/ドル(2025年4月:147.70円/ドルと比べ7.8%の円安)

<品目別動向>

○輸出

半導体等製造装置(686億円→926億円、伸率:+35.2%)は、韓国(258億円→506億円、同+96.2%)及びアメリカ(3億円→121億円、同35.2倍)向けが増加し、2か月連続のプラスとなった。

また、船舶(395億円→512億円、同+29.6%)は、パナマ(30億円→185億円、同6.1倍)及びマーシャル(97億円→112億円、同+15.5%)向けが増加し、2か月ぶりのプラスとなった。

一方、有機化合物(378億円→271億円、同▲28.3%)は、中国(133億円→79億円、同▲40.3%)及び韓国(57億円→33億円、同▲41.9%)向けが減少し、6か月連続のマイナスとなった。

○輸入

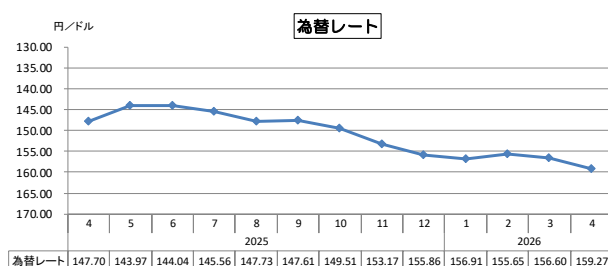
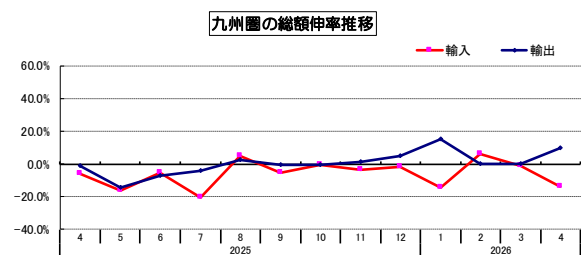
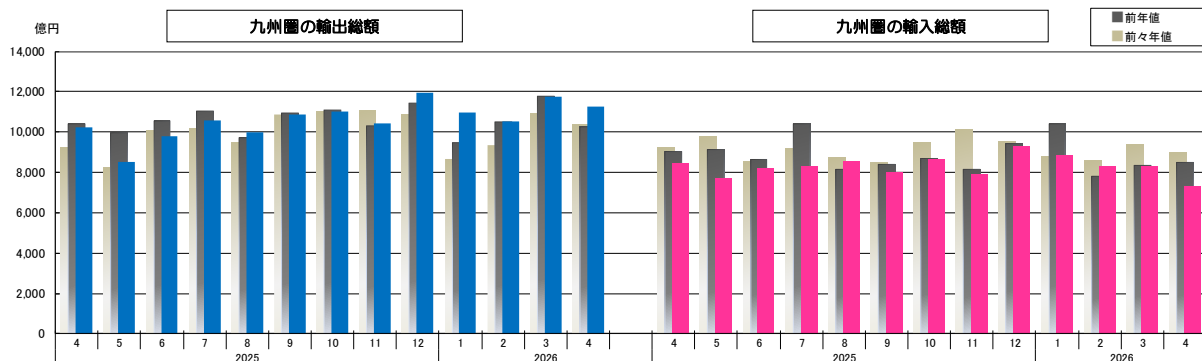
原粗油(219万KL→2万KL、伸率:▲99.2%、1,610億円→14億円、同▲99.1%)は、アラブ首長国連邦(91万KL→実績なし、686億円→実績なし)及びサウジアラビア(69万KL→実績なし、504億円→実績なし)からが減少し、5か月連続のマイナスとなった。

また、石油製品(540億円→285億円、同▲47.2%)は、アラブ首長国連邦(147億円→15億円、同▲89.7%)及びカタール(114億円→実績なし)からが減少し、6か月連続のマイナスとなった。

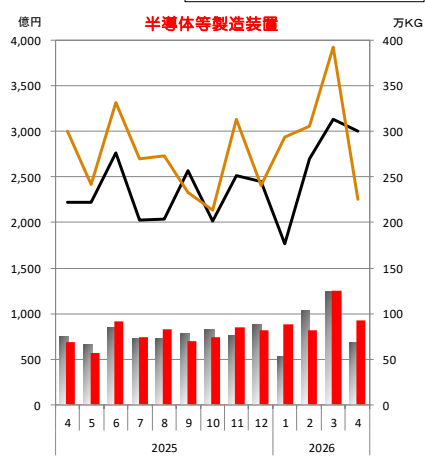
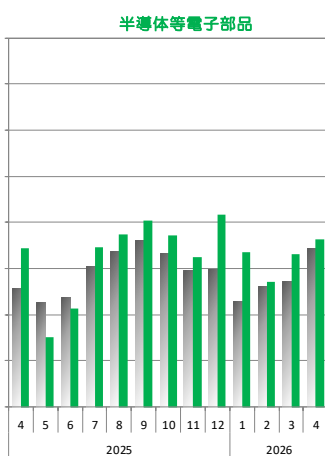
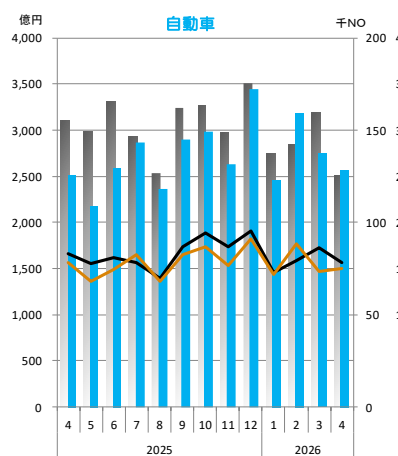
一方、金属鉱及びくず(1,008億円→1,104億円、同+9.5%)は、銅鉱(576億円→666億円、同+15.5%)が増加し、4か月連続のプラスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

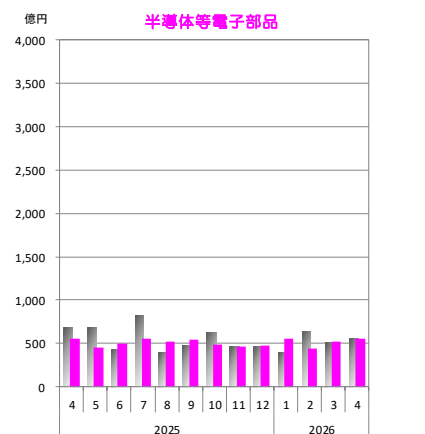
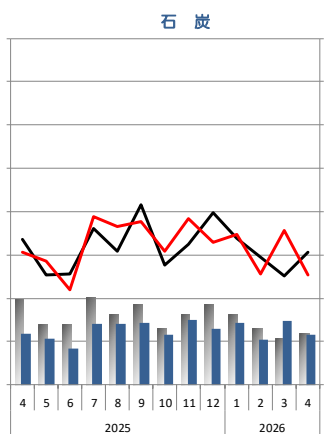
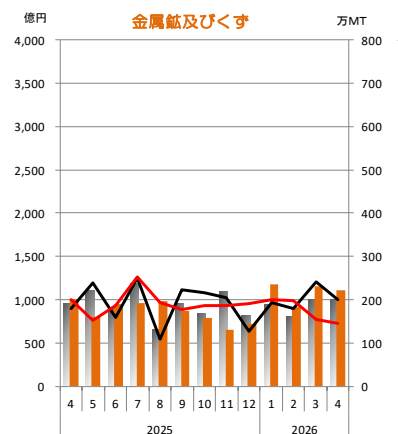
令和8年4月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。